

# 情報 ひがし労

JR東労働組合 中央本部

発行人 松下 明

編集者 情宣部

## 第6回定期大会 成功裡に終了!

第6回定期大会  
JR東労働組合



**コロナ禍において「命と生活と自由」「職場と仕事」を守り  
組織の強化・拡大を成し遂げ、日本労働運動を創造しよう!**

JR東労働組合は6月13日、高崎市労使会館において「第6回定期大会」を開催しました。第3回定期中央委員会から4か月、「コロナ禍において『命と生活と自由』『職場と仕事』を守り、組織の強化・拡大を成し遂げ、日本労働運動を創造していくことを満場一致で確認しました。

松下中央執行委員長から、①「命と生活と自由」守り、新型コロナウイルス感染症から組合員と家族を守り抜くこと②「変革のスピードアップ」に立ち向かい、「職場と仕事と生活」を守り「安全と健康」を担保すること③「平和・環境・人権・民主主義」広範な戦線構築し衆議院議員総選挙に勝利すること④組織強化・拡大を勝ち取ることに伴って挨拶をしました。

また、来賓として長谷川嘉一衆議院議員、堀越啓仁衆議院議員、森田俊和衆議院議員、立憲民主党群馬県第4総支部長角倉邦良群馬県議会議員、全労済群馬推進本部高崎支所浜名支所長、菊地陽一顧問弁護士、OB会山本一善会長、渡辺裕一副会長にお越しいただき、ご挨拶をいただきました。

質疑では21名の代議員から、①新型コロナウイルス感染症4つの重点課題の取組み②短期不安定雇用と昇給なしの低賃金の固定化を企図する「ジョブ型雇用制度」に反対していく取組み③「沖縄平和研修」で歴史的事実を学び、憲法改悪反対や脱原発の取組み④「個人加入」や文化活動の取組みなど職場からの実践をもとにした発言がありました。

そして、鈴木書記長から①新型コロナウイルス感染症に立ち向かい『命と生活と自由を守る』②変革2027に立ち向かい、総合労働条件の向上と安全確立の闘いに全力を傾注していく③「平和・環境・人権・民主主義」を守るために広範な戦線を構築し、衆議院議員総選挙に勝利していく④向こう1年間に「組織拡大強化期間」とし、一切の組織破壊攻撃を打ち砕き、未加入者や他労組、「JR以外の労働者の結集」を勝ち取るなどについて答弁しました。新たな体制のもと、労働者の良心を赤々と燃やし、日本労働運動を燎原の火のように燃え広がらせていこう!

新たに選出された  
中央執行委員



井上寛志 (仙台地本)



福地哲男 (高崎地本)



金子浩士 (高崎地本)

**コロナ禍に立ち向かい、『抵抗とヒューマニズム』を基軸に、  
諸課題の貫徹に向けて内を固めつつ外へ打って出るたたかいを創造しよう!**